

クリニカルパス委員会

《概要》

1 クリニカルパス委員会の現状と今後について

今年度は、平成23年度の電子カルテにおけるクリニカルパス(以下、パスとする。)導入の環境整備と位置付け、新規パス作成の奨励、それに伴うパス適用率の増、パス運用マニュアル及びバリエーション基準の再考を行った。また、外来入院一連パスの作成・導入も見越した委員の追加も行った。

新規パスとして、「鼠径ヘルニア(右・左・両)パス」、「腹腔鏡視下胆嚢摘出術パス」、「CAG/PCIパス」が作成され、CAG/PCIパスでは外来入院の一連パスが作成された。院内パスは108種類となり、パス適用率は38.8%(対前年度比 -3.1%)で、今後更なるパス症例の対象拡大、適用率の向上に努め、DPCや医療の質の向上及び効率性、スムーズな電子カルテへの移行を図ることが今後の課題となる。

2 委員構成

- ・診療局 8名
- ・放射線科 1名
- ・看護局 3名
- ・検査科 1名
- ・栄養管理科 1名
- ・事務局 3名
- ・薬剤科 1名

《実績》

平成22年度 院内パス 症例数TOP20

※1 構成率(%):パス件数/パス合計件数

※2 影響率(%):(DPC合計点数(係数込)-出来高合計点数)/出来高合計点数

NO.	パス名	件数	構成率(※1)	影響率(※2)
1	分娩	599	18.9%	自費
2	診断カテ・PTCA・PCI	416	13.1%	-4.7%
3	帝王切開	228	7.2%	5.7%
4	白内障	200	6.3%	0.3%
5	レミケード療法	155	4.9%	13.6%
6	羊水検査	106	3.4%	自費
7	内膜搔爬・円錐切除・ポリペク・筋腫分娩	101	3.2%	5.5%
8	経尿道的膀胱腫瘍切除術	79	2.5%	3.3%
9	THR	67	2.1%	4.5%
10	腰椎・頸椎・脊柱・椎弓切除	64	2.0%	6.7%
11	脳血管撮影	59	1.9%	10.8%
12	TKR	52	1.6%	4.6%
12	内視鏡下副鼻腔手術	52	1.6%	2.9%
13	CAG	51	1.6%	1.0%
14	ヘルニア(小児)	50	1.6%	出来高
15	小児皮膚腫瘍	45	1.4%	-4.3%
15	大腸ポリープ切除術	45	1.4%	3.6%
16	肺部分切除	44	1.4%	3.8%
17	経尿道的前立腺摘除術	40	1.3%	4.5%
17	慢性硬膜下血腫	40	1.3%	3.5%